

外国語指導助手と国際交流員

那智勝浦町へ2人着任

「まちの良さを広めて」

語学指導などを行う外国青年招致事業（JETプログラム）により来日し、外国語指導助手（ALT）と国際交流員（CIR）として着任した2人の外国青年が22日、那智勝浦町役場に堀順一郎町長を表敬訪問した。新たに任用されたのはアメリカ合衆国出身のコーダス・マーティンさんとインドネシア出身のジュリアン・ブリタンティアさんの2人。マーティンさんはALTとして、色川小学校を除く町内各小学校の児童たちに英語やアメリカ文化について教育を行い、ブリタンティアさんはCIRとして、町観光案内所で観光案内や通訳・翻訳、海外への観光プロモーションなどの誘客促進に勤める予定。



堀町長を表敬訪問した
マーティンさん(左)とブリタンティアさん(右)

堀町長は、「2人はALT教員として、国際交流員として那智勝浦町へ来ていただき、とても感謝しています」と歓迎し、雑談を交えながら那智勝浦町へ訪れた感想や職務についての意気込みを尋ねた。

マーティンさんは「今回が初の来日。初めての場所です緊張していましたが町の人は優しく、人と人のつながりを感じさせる町だと思いました。小学校の子どもたちには英語だけでなくアメリカの文化を教えられれば」。ブリタンティアさんは「日本に来るのは2度目で和歌山に来るのは初めて。以前は都会で勤めていたが、都会とは違い空気もよく、魚もおいしい。インドネシアをはじめとした外国に那智

勝浦町の良さをPRができれば」と話した。堀町長は「那智勝浦町は熊野古道の一つとして有名ですが、関西圏ということもあり、食文化に富んだ地域でもある。観光や食事を楽しみながら職務に励

んでもらい、その良さを広めてもらえれば」と伝えた。

「JETプログラム」は、昭和62年から外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図る目的に実施している。参加している外国青年は教育委員会や学校に配置される「外国語指導助手」と「国際交流担当部局」などに配置される「国際交流員」、特定種目の専門家としてスポーツ指導などを行う「スポーツ国際交流員（SEA）」に分けられる。
(湯川真行)

「集団の中で協力して」

新宮高校 2学期始業式



サポ

難病

和歌山県でも保健相談サービスは10月14日午前10時からで、和歌山市

9月16日
三重県は
三重県は
三重県は
三重県は
中央区日本
ユーアルオ

（本紙）市正証（20）E寺別上画

では、夢枕猿作「沙門」平成29年には高野山大話番号、
寺で寺別召聘講師ら務